

平成二十二年度吉祥寺東コミュニティ協議会住民総会報告

四月17日14時から22年度住民総会が行われました。二丁目の長谷川耿さんを議長に選出、21年度事業報告、決算報告、監査報告および22年度事業案、予算案、運営委員候補の提案が承認されました。今年度監査に石田喜代子、小峰ヒデ子さんを選任。役員は、承認された運営委員で後刻互選することも承認されました。

21年度は、長い地域課題である外環問題および、法政第一跡地の長谷工マンション問題、多くの署名を添えた要望にもかかわらず進展が見られない「二丁目生活道路の多量な通過交通」など、大きな問題でいそがしく、新規の事業に取り組む余裕はありませんでしたが、初級囲碁講座、囲碁を楽しむ会、子供囲碁教室、競技かるた、太極拳の5自主教室と、毎月「つどい」、アジアを知らうインド編シリーズ7回コンサート、落語などの事業を行いました。

新年度は、「私たちのまち企画」の中で、災害時避難の折のコミュニティセンターの使い方、災害時避難所開設の組織づくりの検討を諸団体に呼び掛けて始めること、街が変化し戦争前後のことも忘れられていくので、つどいで「東町の昭和史」の聞き取りをすることが提案されました。

アジアを知らうは「スリランカ」に取り組みます。健康推進員と協働で、「健康ウォーキング」を共催します。

20日午前の臨時運営委員会で、代表井部文哉氏再任、副代表小林宏、林武

志、原利子、青木一郎の4氏、会計担当に宮沢元英さんが選任されました。五月の第一回運営委員会で、若い運営委員が現れず新陳代謝が鈍いのは問題…と、人材発掘プロジェクトが発足しました。決算報告は3面に掲載してあります。

九浦夏のフリマ

私には不用でも使う人がいる。

五月30日(日) 10時半～14時 朝夕雨の予報。曇天で出足を心配しましたが、開始前にはやはり長蛇の列。11時半までは芋の子を洗うような混雑でしたが、一休みの後ゆっくり商談できる楽しいフリマになりました。来店者約250。今回も、下足の世話と自転車整理の若者が、好感を持っていただきました。ちなみに出店申し込みは20分で満席。

フルートコンサート

六月6日午後

堀井恵、ザビーネ・ザイフリット夫妻の2本のフルートによるデュオ。70名が至福の

ひと時を堪能しました。堀井さんは2度目の出演。ピアノはおなじみ田鶴浜静子さん。今回の大曲は緊張したようです。

第七回九浦の家落語会

出演は毎度おなじみの三遊亭橋也さんと落語学長東宏文氏さん。

五月26日(第4水曜) 午後の木戸銭500円の九浦落語会も、大入りとはいかぬものの定着の様子。橋也さん、先般吉祥寺駅北口広場で足の甲を通称下駄骨折。まだ足を引きずって高座に上がるのが大変でしたが、正座できてしまう所がすごい。この骨折をたつぷり枕にして、今回は、おなじみの「饅頭怖い」と、ちよつと大物「こんにやく問答」の二席。及び、おなじみ長束さんの落語学でした。

CAJACKYUNO

四月は「武蔵野市の水道」

前水道部長の渡辺幹夫さんによる、武蔵野市水道の基本についてのレクチャー。

武蔵野市は都から一部分買っている分の管はつながっているが、他の自治体と違い、水道事業が独立単独でおこなわれている。他に単独は羽村市などの例のみ。

戦後の早い段階で水道化に踏切ったため、既に本管は60年を超え、大改修、敷設がえの時期に入っている。工事にかかりたいが、道路の下はすでに各種の管で埋まり、地下といえどもゆとりが無い。それと、ほかならぬ命をつなぐ水のことなので、他の供給源に繋がらない中で万一工事中に本管が破損したら、2～3ヶ月、全市民が給水車による飲料水以外の水が断たれま

す。風呂も洗濯も市外で。調理も無理。

そのため何次にもわたり検討し、技術的には可能だし自信もあるが、万一のセイフティネットが無いので、まだ着手していない。大きな課題であるのがわかりました。

水道部には水道屋魂が有り、自治体の仕切りを越え、困った時の相互助け合い精神と制度が完備しているそうです。五月の「武蔵野市の下水道」は1面参照。六月は吉祥寺周辺の自転車対策について、道路交通課職員と意見交換します。

東コミ局 センターからのお知らせ 10.06.25

- ▼四月1日コミュニティ研究連絡会を九浦の家ホームルですし詰め状態が開催。
 - ▼四月末、運営委員総動員で館内整理をし、不要書類、読まない本を処分して入れ替え、廊下の戸棚も整理しました。
 - ▼下駄箱前の小椅子が早くも壊れ、買い換えました。使われている証拠でもあります。
 - ▼調理台、シンク前の窓に、ロールスクリーンをつけました。
 - ▼実つきが良かったので庭のサクランボの収穫を期待しましたが、ネットをかける前にほとんど鳥に食べられてしまいました。
 - ▼児童室の床の臭いが気になります。改善策を市と協議します。
 - ▼九浦の家の30年誌「30年目の九浦の家」、お入用の方は窓口へどうぞ。
 - ▼六月から窓口担当に天野優希さん。事務にも行事にも大活躍だった朝比奈遼君は、授業時間の調整がつかず、退任です。
- 吉祥寺東コミュニティ九浦の家電話・ファクシミリ
二一四一四一

街づくりができるのは、そこで生活す

下水道施設見学記

小平市の「ふれあい下水道館」は地上2階一見小さな建物ですが地下5階もあり、最下階では実際の下水道本管（地下25m径4.5m）に入って見ました。汚水は濁った茶色ですが臭いはさほどではありません。地下五階まで下りる螺旋階段のわきは、掘り下げられた地層が復元展示され、この辺が古多摩川流域で、その下には海底の地層もあるのが見られます。地下2〜3階は下水道のシステムや浄化の仕組みの展示。「清瀬水再生センター」は21万㎡余の土地に沈殿槽と汚泥処理工場、管理棟があります。ここで多摩地域東北部の分流式で集めた下水のみを処理

し、きれいにして柳瀬川に放流しています（すぐ荒川にて、隅田川となり東京湾に）。

分流式の下水処理場でも、雨が降ると何故か下水水量が増えます。そうすると沈殿池や反応槽の処理水が増水して薄まり、折角培養した活性汚泥がバクテリアで汚水を分解処理するに流れてしまうので、それを防ぐため入ってくる下水を止め、雨で薄まった下水は直接川へ出してしまおうそうです。

下水の問題は著しい広域の問題で、河川浄化の問題とも直結しており、市域、ましてや丁目の問題に矮小化できない問題であることが判りました。

井部文哉

22年度学校の先生の異動

三中副校長清水壽先生四中副校長に御転出。山口敦副校長府中第一中から転入。数学の竹山正弘先生六中副校長として御転出。社会科の千葉東先生清瀬二中へ転任。数学の高野由紀子先生は一中へ。数学の伊藤一弘先生渋谷上原中、澤田光伸先生横浜の高校から、社会の木野内実先生二中から転入です。新一年生116名。

本宿小大田黒範子先生府中第九の副校長に。三浦勝也先生練馬中村小へ御転出です。代つて井ノ口和子先生が二小から、泉誠一郎先生が府中日本新小から赴任されました。新一年生32名。男子が8名も多い。

第四小は新校長佐藤幹夫先生が玉川小から赴任。江見みどり先生が国立第一から、米内山美紀先生が三鷹第四小から転入です。

ムーバス東巡環 終バス時間延長を

五月20日、ムーバス東循環の、終バスの時間延長を求める陳情について、本宿コミュニティセンターの呼びかけで集った、地域諸団体が協議し、六月議会に正式に陳情することになりました。

ムーバスも創設時の高齢者の外出支援の目的を越え、いまや完全に住民の足化したためでもありません。要望は、吉祥寺駅発の終バス21時です。

鎖され、市による荷捌車置き場と駐輪場建設の看板が出ました。鉄骨3階、十月着工、来年三月末に完成予定。六月14日夜商工会館で説明会。

◎六月第一週から、東町のランドマークの一つだった、宮田重雄邸（東町駐在所筋向い）の取り壊し。松の太木3本のうち1本が伐られました。小路を見込む緑はまだ保たれています。集合住宅化しますが一部画廊カフェの予定とのこと。道路際の桑の木2本は、本宿小の児童が観察のため飼育する蚕の餌用に貰い受けられ、学校に植えるためPTAのお母さんに運ばれてゆきました。

◎本宿小フジンスの青少協掲示板新品に。◎女子大通り額のダラッカーナ右隣に、犬のトレーニンング、保護、里親探しなど行う店舗 wanspace が七月オープン。既に看板犬が座っています。

◎五月7日正午頃、東町二丁目で、玄関の鍵を開けようとしている犯人と帰宅の家人が遭遇し犯人逃走。50〜60才、白髪まじりのパンチパーマ、作業服（未解決）。深夜の女性の一人歩きは十分注意してください。

◎四月〜五月25日の東町交通事故は物損事故一丁目9、二丁目2、三丁目2、四丁目2の計15件。人身事故4件。自転車と車の事故多発です。

◎六月10日14時、東町駐在前交差点で、タクシーと乗用車が衝突。怪我人はありません。

◎四月〜六月18日まで東町の火事ゼロ。

◎東町駐在矢澤礼美さんに代わり岡本巡查が町内をパトロールしています。

◎旧伊勢丹地下、三浦屋が出店予定。

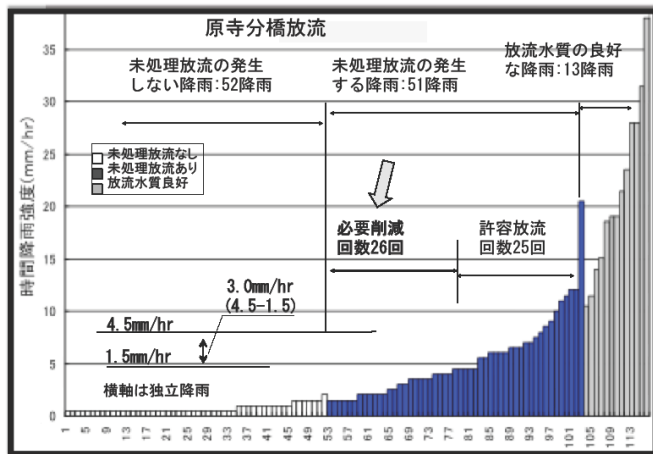
平成21年度 決算書 (2009/04/01~2010/03/31)

■補助金の部 <収入>		■委託金の部	
市補助金	2,234,000	収入額	市委託金 4,404,000
前年繰越金	695,842	支出額	窓口手当 4,313,695
雑収入	6,158	精算額	90,305
計	2,936,000		

■支出					
項目					
事業費 413,361	7/7を知らずバス研修 102,641	かると大会初級園芸 14,830	開基大会 29,437	開基大会 29,437	九浦落語会 48,000
	おもちつき 68,574	音楽会 44,840	地域活動費 25,000		
	私たち町会画 19,720				
運営費 225,125	お茶 4,820	管外研修 5,000	つどい 2,961		
	委員会 57,300	バス研修 73,500	4/16バス-2 11,000		
	事務会議 15,540	あり方懇 5,093	20年度音楽会 38,444		
	収入印紙 -2,000	研連 13,467			
消耗品費 329,074	パンダナ 418	封筒代 17,842	門松 700		
	有料ゴミ袋 8,600	ポスト 4,677	ほうき 2,258		
	USBメモリー 10,720	パソコン 6,799	コード 2,630		
	事務用品 14,611	布団カバー 47,250	電池 1,078		
	玄関マット 36,855	台所用用品 22,406	ゴミ箱 1,470		
	額縁 6,300	トイレット紙 14,895	ビニール用紙 13,875		
	プリンター 11,110	蛍光灯 12,732	お茶 7,883		
	ホース 3,968	本 34,546	チーフ 1,180		
	バケツ 5,512	トイレ芳香剤 624	工具 1,368		
	ジョウロ 1,279	卓上ラック 34,208	カメラ周辺機 1,280		
印刷製本費 461,448	九瀬の家だより 265,146	インク・マシ 120,645	ビニール保守 230,890		
	配布代 28,890	印刷機リース代 152,040	ビニール売上 △131,000		
		印刷機売上 △205,163			
新聞雑誌	月刊誌2部 14,160				
通信・交通費 73,351	ビラ電話代 40,431	切手葉書 30,430			
	同上電話売上 △610	交通費 3,100			
IT関連費	IT 50,610				
研連負担金	コミュニティ 40,000				
修繕料 153,479	印刷機修理 38,640	蛍光灯 26,400	パソコン修理 5,000		
	プリンタ修理 7,839	障子 75,600			
備品費 263,747	テレビ 165,890	スキャナー 10,400	掲示白版 13,177		
	ゴミ箱 31,100	椅子 20,600	デジカメ 22,580		
合計	2,024,355	繰越金 907,414			

る私たちがです。

担当課の必要貯留量算出
流域面積約560ha×3.0mm
×流出係数0.6=必要貯留量
=約10000m³



説明会当日、担当課から、質問に対して「これは合流式改善であって、豪雨による浸水対策にはならない」という返事がありました。

一方、五月22日、FFウッドテラスで行われたタウンミーティングでは、しつこいほどの質問に対し、市長の答えは「浸水対策」一本槍でした。どっちなのか。

た。しかし、いわゆる防災公園と、17年の北町の浸水対策に役立つのかという認識がありませんでした。だから、降雨量の単位が5ミリなのか50ミリ(1時間単位)で混乱したのです。説明会当日の資料「合流式下水道改善施設整備計画(概要)」の、合流式下水道改善計画の説明にある、合流式の問題点である「大雨時に汚水が未処理で公共用水域に放流され」の文言も、混乱の一因です。5ミリの雨は普通の感覚では大雨ではありません。

住民は、公園用地として記念講堂跡地を取ってきたとの陳情者への連絡を受け、公園用地との認識です。長谷工紛争の市とのやり取りの中で、取得できたら有効利用のため防災施設にも利用したいという井上都市整備部長(当時)の発言は聞きまし

住民の素朴な疑問

2~5ミリの雨なら、校庭の雨水浸透施設で自分の敷地内に降る雨は外に出さないを敷衍して、個人の住宅に雨水浸透枿を作ることと賄えないか。市は以前から雨水浸透枿設置費用を全額補助している。新築の際は工務店に施主に提案するよう指導し、建築申請の折チェックしているというが、近頃建て替えたどの人も、そんな提案はなかったといえます。宅地の浸透枿、トレンチは効果があり、市内には2,000個設置済みで効力は約5,000m³分に当たる。何故積極的にPRしないのか。補助金額は自治体の中で最高だというのが、三鷹市は2,000個設置済みと聞く。

道路も浸透性のある舗装や道路雨水貯留浸透施設を検討してほしい、その上で、さらに不足する分は何万トンか、貯留槽が必要な別の場所にも計画しているのか。いずれ調布飛行場跡地の水処理センターへ下水幹線経路変更というが、今回施設の30億の費用対効果はあるのか、などなど。

第3回説明会の結果は次号で。HPには速報します。

むすしの地区外環問題協議会 第四回総会が行われました。

六月19日(土) 19時からの総会(本宿コミセン)で、井部東コミ代表により今までの経過報告がありました。今年度も、南・本宿・吉東3コミネットワーク事業として協議会が継続されます。

外環の2地上部道路について話し合う会」は次回の日程を調整中です。

そのほか、三月5日の「本場に必要な道路?」交通量・費用便益徹底検証ー古川英夫氏を皮切りに、隣接や関連する市区の住民と一緒に3回連続勉強会が、外環道路を市民の目で徹底検証する「私たちの『地域課題検討会』報告会」実行委員会主催で行われ第3回の東町在住の古谷圭一さんの問題提起と基調報告で、シリーズを終えました。いずれも参加者多数、熱気あふれる勉強会でした。

第3回「空気は大丈夫か」大気汚染を徹底検証ー

四月6日(火)夜 吉祥寺南コミでの元理科大学教授古谷圭一氏の基調報告は、大変専門的な話で、ついてゆくのが大変でしたが、大気とか気体にものが混じるということはどうか、問題の物質を除去して排気すると、その時吸い込む空気は、外気そのものであることなど、空気の動きの基本的な理解と、様々な気体の中に混じる物質の量の単位など、「基本の基」を学びました。

第2回「地下水は大丈夫か?」

地下水枯渇、地盤沈下、地下水汚染を徹底検証ー(三月22日夜 西荻地域区民センター)は、善福寺池命の古川英夫氏と、今地表に見えていなくても道を歩けば昔の水みちが判るとい水みち研究家宇都宮敬三氏の基調報告超が付くくらい面白く、70名ほどの会場からは次々質問が出ました。

東町ニース

今年も安養寺のボタンを初め、藤、花木が見事な咲きぶりでしたが、東町は近年ヤマボウシとトネリコが増えました。六月、東町、本田北両公園はセンダンの花が香り、下旬には東町公園のネムが咲きます。

◎四月28日、女子大通りキッチンおじさんのあとに、Kitchen&Cafe [Kiri Paul]が開店。店主シエフの母国スリランカ料理を基調の展開でカリヤや海南チキンライスなど。キッチンおじさん時代の常連客層の高齢者の反応はどうでしょうか。学割があるようですが、以前より若いお客さんが来ているようです。

◎五月6日夕方、五日市街道住友林業の車庫に燕が2羽出たり入ったり、時々壁に止まっていたが、今年も営巣はなし。

◎五月22日、暑すぎるぐらいの晴天下、本宿小学校の運動会。一家でお弁当を食べる慣わしなので、開始前は皆さん数物とランチボックスを持って場所取りに懸命でした。力を付けてきた吹奏楽部が大活躍。ファンファーレ以下暑さもものは、楽器をタオルで日差しから保護しながらの演奏を続けました。

身体的な成長が目瞭然の運動会。一年生が6年間でいかに成長するのか実感できます。組み体操も上々のできばえ。さすがしい運動会でした。老人クラブもテントの中で声援を送っていました。

◎麻疹の発生のため、五月24日出発の予定が一旦中止になった三中一年生のセカンドスクールは、流行が収まったため、六月に実施されました。

◎吉祥寺大通り北の駐車場有里寿が閉

吉祥寺東コミュニティ通信

九浦の家づくり

●NO88 2010.06.25
 吉祥寺東コミュニティ協議会
 ● 武蔵野市吉祥寺東町
 1-12-6
 吉祥寺東コミュニティ
 センター(九浦の家)
 ●電話0422-21-4141

法政第一記念館跡地

雨対策の1万m³貯留槽計画 合流式下水道改善施設整備計画

雨の時の汚水交じりの雨水一時貯留施設Ⅱ合流式下水道の改善対策、および浸水対策のための貯留槽Ⅱ

何のために、つくるのか
 どうして「コン」なのか
 広報を早くしなかったのか

三月5日夜九浦の家で行われた、都市整備部下水道課による、雨水汚水貯留槽設置説明会は、住民が公園用地と想っていた法政第一中高記念館跡地に、地下20数メートルも掘り下げる巨大貯留槽を設置するという計画が、突然かつ唐突、また規模が想像外だった上、質問に対して説明が要を得なかったため、4年にわたる長谷工マンション工事に疲れ果てている近隣住民から、悲鳴に近い反発の声が上がりました。

東コミュニティ協議会が住民の要望を受け、都市整備部下水道課と日程調整を行い、2回目の説明と意見交換を四月27日(火)本宿(ミセン)で行いました。

19時から行われた説明と質疑は、再び激しい応酬となりました。しかしながら市の下水道事情も分かってきました。ただ頭の中の混乱は続いています。

第3回説明会は、六月25日(金)。資料の不足分や、説明不十分のもの、質問への回答は用意してくる約束です。担当課は毎月1回ほどのペースで、説明を行い理解して欲しいと言っています。

この間、五月18日、バスで小平上水本町のふれあい下水道館と、清瀬市下宿の清瀬水再生センター見学会がありました。見学希望は多かったものの、急な企画のため参加住民は6名のみ。ただ、参加者は、下水は広域問題であることを感じざるを得なかったようです。

また、五月27日九浦の家「つどい」での、元都市整備部下水道課長久保利夫さんによる武蔵野市の下水事情と歴史の話で、説明会時の疑問が解けたり理解できた部分もあります。

なんのために 25年度まで国から補助金
 汚水は下水道で処理場に運び、浄化して河川や海に戻します。東町を含む武蔵野市の約6割の下水が善福寺排水区で、善福寺幹線を経て都の落合水再生センターで浄化されています。

武蔵野市は河川がないので、雨水をさえずり直接流す場所がなく、降った雨を面的に集めて下水道を使い隣接区市の河川に流します。武蔵野市は単立できないのです。

昭和27年、いち早く下水事業に踏み切った武蔵野市では、汚水、雨水の流れる管が同じものを使う合流式になっていました。汚水は下水本管のごく一部を流れており、通常なら何百倍もゆとりのある太い本管が、いったん雨になると雨水でいっぱいになり、処理能力に見合った汚水を受け入れるために細く作られている処理場行き管に入る仕分け装置の能力を越える分が、汚水混じりの雨水として直接善福寺川に流出します。(下水道管が直径数mもあるのは雨水のため、日常の雑排水、し尿だけなら口径数十cmで済みます)。

この仕分け装置が雨水吐き口で、武蔵野用は善福寺川原橋と原寺分橋の2か所にあります。

東町ポンプ場にも貯留槽の説明会が三月2日にありましたが、そこに参加した杉並区議3名が、武蔵野市に大変迷惑を被っている旨発言しました。四丁目の浸水対策の貯留槽建設と思っただけで参加した住民は、意味がよくわからなかったそうです。

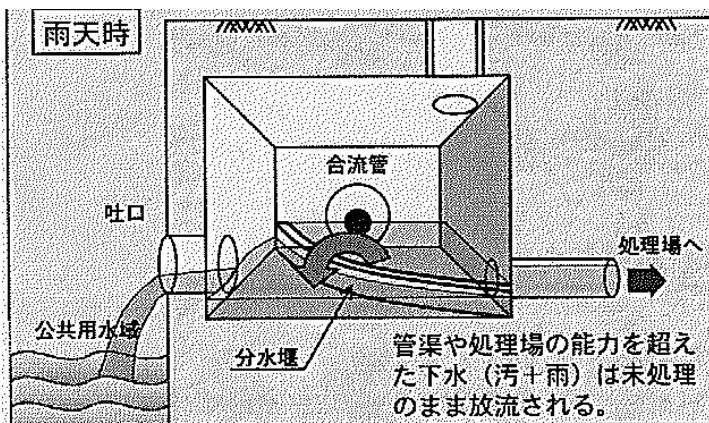
住民理解の混乱の原因

下水道課は、今回の事業は、1時間当たり2ミリから5ミリの降雨(水溜りができる程度)で起きる善福寺川への未処理水流出を、手前に大貯留槽を作っで一時的に、水位が下がった後揚水して下水に戻すためとしています。

これで杉並区への迷惑の回数を半減させようとする。(2面に続く)

予告

第3回合流式改善貯留槽説明会
 六月25日(金)19時〜三中全会室
 九浦落語会 三遊亭橋也 長束宏文
 七月28日(水)14時〜木戸銭500円
 本宿盆踊り大会 八月21・22日
 & わんぱく相撲盆踊り場所
 本宿盆踊り実行委員会主催
 これからの医者のかかり方、病院と診療所との連携について
 富田博樹武蔵野日赤院長
 八月25日13時半〜本宿「ミ」
 東部福祉の会・本宿「ミ」共催
 市民と市長のタウンミーティング
 八月25日18時半〜九浦の家共催



雨水吐き口の構造 武蔵野の吐き口は、女子大通り原寺分橋と少し下流の原橋の二か所ある。橋から見えます。